



2020年6月11日

各位

会社名 ラクスル株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 松本 恭攝  
 (コード: 4384、東証第一部)  
 問合せ先 取締役 CFO 永見 世央  
 (TEL. 03-6629-4893)

### 2020年7月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2020年6月11日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向を踏まえ、2020年3月12日に公表した2020年7月期(2019年8月1日~2020年7月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2020年7月期通期業績予想数値の修正(2019年8月1日~2020年7月31日)

	売上高	営業利益	non-GAAP 営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,000 ~23,000	△560 ~△660	△500 ~△600	△660 ~△760	△770 ~△870	△27.44 ~△31.00
今回修正予想 (B)	20,800 ~21,200	△340 ~△420	△280 ~△360	△470 ~△550	△600 ~△680	△21.43 ~△24.29
増減額(B-A)	△1,200 ~△1,800	220 ~240	220 ~240	190 ~210	170 ~190	-
増減率(%)	△5.5 ~△7.8	-	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (2019年7月期)	17,168	143	143	130	69	2.51

(注) non-GAAP 業績値は、財務会計上の数値(GAAP、日本基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社の恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社は non-GAAP ベースで予想値を開示しております。具体的には、株式報酬費用を中心に、当社が控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

#### 2. 修正の理由

売上高につきましては、2020年7月期第2四半期累計期間においては前年同期比48.7%と順調に成長を続けていたものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響が不透明な中、前回発表予想(2020年3月12日)時点では前期比0%~△10%程度で主力の印刷事業の売上高が推移しておりました。しかしながら印刷事業において、政府の緊急事態宣言発令後には最大で△25%程度の落ち込みがあったことから、通期の売上高は前回予想を下回る見込みであります。一方で、首都圏及び関西の緊急事態宣言解除後は、前年と同水準まで売上高が回復しており、緊急事態宣言が再発令されない限り、今期末まで改善傾向が続く見込みであります。

利益面につきましては、各事業において売上総利益率の改善に注力し、当社企業価値の源泉である売上総利益が4,650百万円~4,850百万円となる見込みであります。営業利益(non-GAAP)については、△280百万円~△360百万円を見込んでおり、売上総利益率の改善に加え、生産性向上の取り組み及び投資

効率の悪化懸念がある広告宣伝費を一時的に抑制したこと等により、予想を上回る見込みであります。

当期純利益につきましては営業利益の増加により、予想を上回る△600百万円～△680百万円を見込んでおります。なお、2020年7月期第4四半期会計期間において、新しいワークスタイルへ移行することを念頭に既存オフィスの一部解約を決定したため、22百万円の営業外費用及び20百万円の特別損失を計上する予定であります。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

以 上